

# 三重県農業大学校 同窓会通信

第22号

発行  
三重県農業大学校  
同窓会  
松阪市嬉野川北町530  
☎0598 42 1260

「あいさつ」

同窓会会長 小竹 行哉



向春の候、同窓会会員の皆様にはまず御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素は同窓会活動へ格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今年の夏は昨年同様非常に暑く降雨量も少なく、日常生活も農作物の管理も昨年以上に大変な年でした。これからこのような異常とも言える気候変動を想定して農業経営をしていかなければならないと強く思うところ。また、昨年から米価の高騰が止まらず平成五年の冷害による大凶作以上の高価格となり、米価等農業関係のニュースが連日の様に報道され、これからの日本農業がどの様になっていくのか、未来を想像することがとても困難な環境に懸念を抱かずにはいられません。ですがこの苦境を乗り越え明るい未来に向かつてより良い日本農業を自ら率先して示してまいりたいと思っております。昨年度の同窓会活動では、同窓会費を使い、学校へ農業機械(トラクタ用ブレンドキャスター、摘採機用茶裾刈アタッチメント)を寄贈いたしました。

月六日に開催された農大祭では教室にブースを設け、過去何期かの写真をスライドショーで流しながら卒業論文と飲み物を置いて同窓生の皆様が気軽に立ち寄れる場所を提供させていただきました。また、同窓生の有志の方々にはマルシェの出店をしていただき、出店後もお疲れのところ同窓会ブースに来て頂いてありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。同窓会ブースへご来訪された皆様には昔の写真をご覧になって懐かしい思い出話に花が咲いたり、自分の写真がなくて残念がられたり、私は自身の卒業論文を読みその内容のあまりの未熟さに恥ずかしい思いをいたしました。来ていただいた同窓生の皆様に重ねて御礼申し上げます。今年度末、二月二十八日に三重県農業大学校にて開催する総会において、以前からお伝えしている規約改正もありですが、三重県農業大学校は創立五十五周年を迎え、その記念式典も催行いたします。記念講演や記念誌の発行等を鋭意準備中です。是非皆様のご来場をお待ちしております。

私事で大変恐縮ではございますが、今年度十一月十二日に公益社団法人大日本農会より緑白綬有功章を拝受いたしました。これもひとえに皆様のお力添えのおかげです。ありがとうございます。最後に同窓生皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

「あいさつ」

農業大学校校長 谷口 典生



同窓会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと喜び申し上げます。平素より三重県農業大学校のことを気にかけていただき、ご理解とご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。私も勤務二年目となり、日々教育活動の円滑な運営に微力ながら努めている次第です。引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。

三重県農業大学校におきましては、より良き学びの場づくりのため、各種の取組を実施しています。近年、夏の暑さが厳しさを増して

\*\*\*\*\*

## 話題

### オープンキャンパスを 開催しました

二年課程、一年課程の入学希望者向けのオープンキャンパスを八月二十一日(木)、二十四日(日)に開催しました。あわせて延べ八十名が、希望する専攻コースでの実習や講義体験、学校説明に参加しました。水田作専攻の水稲の調整作業、野菜専攻のトマトの定植、花き専攻の

いる中、今年の夏の平均気温は、観測史上、最高となり、熱中症対策は肝要となっております。対策として、作業前の学生の体調確認やこまめな水分補給・休憩確保、熱中症発生時の対応フロー図策定などを実施してきました。実習開始時間を早めながら工夫して対応した専攻もあります。このような対策を実施したこともあり、幸いにも熱中症による体調不良者を発生させることなく、昨夏を乗り越えることができました。今後も厳しい夏が想定されるため、対応強化を図っていかねばなりません。対応拡大した取組として、校外での農大マルシェの開催があります。昨年までは市内の農産物直売所と社会福祉協議会での出張販売でしたが、今年度は、新たに、市内の大規模観光農園や卸売市場、JA祭り等のイベントでの販売も実施しました。校外での活動を通じて、農業大学校の認知度向上や販売力向上、さ

らには、学生達の「売る」力の向上も図っていきたくと考えています。その他にも、多様化した学生対応のための職員資質向上研修の開催や、火事、地震を想定した避難訓練の実施なども実施しています。今後時代に対応した取組を実施し、充実した農業大学校運営に職員一丸となり努めていきます。そして、今年度は、小竹会長も記述していただきますように、同窓会関係者の皆様のご協力により、十五年振りに農業大学校記念誌を発行することとなりました。また、九年振りに同窓会総会を実施する運びとなります。多数のご参加をお待ちいたします。これを機に、同窓生の絆がさらに強まることを願っております。結びに、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念するとともに、同窓会活動を通じて、農業大学校の発展を支援していただくことをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

葉牡丹のポット上げ、果樹専攻のブドウの収穫、畜産専攻の施設見学等、暑い中ながら、参加者は熱心に説明を聞き、作業に取り組んでいました。また茶業専攻の講義体験では、淹れ方による味の違いに驚く声も聞かれました。オープンキャンパスには各専攻の学生も実習や講義の補助として参加しています。中には、高校の先輩・後輩など顔見知りの参加者と学生が農大の学生生活についてさかんに情報交換する場面もあり、学生が入学に向けての良き案内役となりました。



### 二年生プロジェクト発表会で 調査研究の成果を発表

九月二十六日(金)に二年生二十三名が一年生の時から専攻学習を通じて課題を持ち、創意工夫を生かして行ってきた調査研究成果を披露するプロジェクト発表会を開催しました。内容は、品質向上、省力化、化学合成農薬低減、スマート農業

品種の検討、経営分析など多岐にわたる、どの内容も農業を行っていくうえで注目すべき課題ばかりでした。また、発表スライドの作りがどれもレベルが高く、グラフ、写真、動画をふんだんに使い、専門的な知識がなくても理解しやすい工夫がされていました。また、みんな緊張してまずと言うものの、スツツ姿で堂々と発表し、質問にも的確に回答していたのには感心させられました。一人当たり十分の発表と質疑応答を順次行い、朝九時から夕方四時までと長丁場の発表会となりました。それぞれの発表に対して、農業研究所等からの審査員十五名から鋭い質問や的確なアドバイスをいただくとともに、採点をしてもらい、最優秀者を決めました。最優秀者には一月に和歌山県で行われる東海近畿プロジェクト農業大学校学生研究発表会へ出場してもらい、そこで上位に入れば二月に東京での全国



発表会に出場します。二年生は春には社会人となります。プロジェクト学習で養った課題解決能力を、今後仕事で壁にぶつかった際には存分に発揮して欲しいです。

### 令和七年度第二十二回 農大祭&西山農業まつり を開催しました

令和七年度第二十二回農大祭&西山農業まつりを十二月六日(土)に開催しました。延べ九〇〇名の方が来場されました。

当日は、農業大学校で作った農産品の販売やクイズラリー・アクセサリーなど各専攻で工夫を凝らした催しもを出店したほか、卒業生マルシェや同窓会ブースなど、OB、OGの方々にもご協力いただきました。お客様に日ごろの感謝を伝えるだけでなく、来場者の方々へ三重県の農業や畜産業に触れて楽しんで理解を深めていただけたかと思えます。また、多くの卒業生の方々に来場いただき、在校生と交流を深めていただくなど、双方にとって良いイベントになったと感じています。

次年度以降も、農大祭&西山農業まつりを開催し、農業の魅力発信に努めていきますので、同窓会の皆様におかれましても、見守り支えていただきますようお願いいたします。



### 各専攻コースの様子

▼茶業コースの様子  
茶業専攻は、現在二年生三名、一年生は一名の計四名の少数精鋭で、チームワークを大切に頑張っています。日々の実習は、従来通り毎朝茶業研究課(亀山)に出向き、施肥、防除、被覆などの栽培管理作業を中心に、収穫期は各茶期とも収穫・加工を実施し、その後のパッケージ化も実習の一環で行っています。また、加工した茶は、仕上げ調整後に商品として水曜販売にて提供しています。

▼野菜コースの様子  
野菜専攻は、二年課程十一名(二年生三名、二年生六名、一年課程五名の計十四名で、日々実習に取り組んでいます。実習では、施設野菜(トマト、キュウリ、イチゴ)を中心に、露地野菜を含め二十数品目の栽培管理、出荷調整、販売まで一貫して行っています。

▼花きコースの様子  
花き専攻は、二年課程二年生三名と一年生二名の計五名で実習を行っています。切花・鉢花・花壇苗・花木・観葉植物と幅広い花きについて実践的な技術や知識の習得を目指して、日々栽培管理や出荷調整、販売を行っています。最近の実習では、パンジービオラやハボタンなど冬の花を販売するとともに、暖房機を稼働させるにあたっての保温カーテンやダクトの張替え、シクラメンの播種などの作業をしました。また、松阪三珍花保存会と交流し、松阪撫子など古典園芸の栽培にも取り組んでいます。

▼畜産コースの様子  
畜産専攻は、二年課程五名(一年生四名、二年生一名)で日々実習を行っています。実習は、県畜産研究所で行っており、肉牛・酪農を中心とした家畜の飼養管理、飼料作製等の技術を学んでいます。

▼水田作コースの様子  
水田作では現在二年生が五名、一年生が六名、一年課程が一名の大所帯で実習をしています。教員は小倉先生、上田先生(機械の匠)、私で担当しています。



▼果樹コースの様子  
果樹専攻は、二年課程二年生五人、一年生三人と二年課程二人で実習を行っています。最近の実習については、常緑果樹では、極早生温州の収穫が十月下旬から始まり、年末には晩生の青島温州、年明けから中晩柑類の収穫が始まりました。落葉果樹では主にウメやブドウ、ナシ、カキの収穫を行いました。生食用だけではなく、梅シロップや干し柿、ドライフルーツ等の加工実習も行いました。学生は日々、果樹栽培の難しさに苦戦しながらも、活気良く実習に取り組んでいます。



▼野菜専攻は、二年課程十一名(二年生三名、二年生六名、一年課程五名の計十四名で、日々実習に取り組んでいます。実習では、施設野菜(トマト、キュウリ、イチゴ)を中心に、露地野菜を含め二十数品目の栽培管理、出荷調整、販売まで一貫して行っています。

今年度は、三重県オリジナルイチゴ新品種である「うたの」の栽培を新たに開始しました。栽培特性の把握や果実品質の評価などを通して、実践的な栽培技術の習得に取り組んでいます。

今年度は、畜産研究所のヒツジの毛刈りを行い、その毛でマスコットを作り、イベントや農大祭で販売しました。これまで畜産専攻では販売実習を行っていなかったのですが、お客様とコミュニケーションをとる良い機会となったので今後も続けていきます。

今年度は、畜産研究所のヒツジの毛刈りを行い、その毛でマスコットを作り、イベントや農大祭で販売しました。これまで畜産専攻では販売実習を行っていなかったのですが、お客様とコミュニケーションをとる良い機会となったので今後も続けていきます。



# お知らせ

## 学生募集

農業大学校学生募集の概要についての詳細は、三重県農業大学校ホームページを「ご確認ください」。  
<https://www.pref.nie-tokai.jp/nodai/hp/>  
8924000001\_00001.htm

### 養成科二年課程及び一年課程

(1) 募集する課程及び専攻コース  
ア 二年課程

水田作コース、茶業コース、野菜コース、花きコース、果樹コース、畜産コース  
イ 一年課程

### (2) 募集定員

ア 二年課程 三〇名程度  
イ 一年課程 一〇名程度

### (3) 経費

授業料 年間 十一万八千八百円  
その他 二年課程の二年間で百万程度、一年課程で四十万程度

### 養成科一年課程後期試験

(1) 願書受付期間  
令和八年二月九日(月)～二十四日(火)(当日必着)

(2) 試験日  
令和八年三月六日(金) 十時～

(3) 合格発表  
令和八年三月十一日(水)

### 令和七年度

## 三重県農業大学校同窓会 総会&記念講演の開催

令和八年二月二十八日(土)に令和七年度三重県農業大学校同窓会総会&講演会を開催します。

総会では、同窓会規約の変更等の協議を実施する予定です。また、総会の前には、記念講演として、地元三重県四日市出身のザブングルの加藤氏を迎え、農業の魅力等について、お話しいただく予定です。

総会及び講演会については、ご家族同伴での参加も可能ですので、ぜひご参加ください。  
なお、参加申込については、農業大学校HPよりお申込みください。

## 農業経営の変革(イノベーション)に挑戦しませんか

### (みえ農業版MBA養成塾)

みえ農業版MBA養成塾(以下、養成塾)の令和八年度塾生を募集いたします。

養成塾では、大学教授による専門的な指導のもと、塾生自身が描く経営ビジョンを明確化し、その実現に向けた経営プランの策定を丁寧にサポートしています。

既に農業に従事されており、さらに成長していきたいとお考えの方や経営者、また、従業員の皆さまがご参加いただける養成塾となっています。農業経営の変革(イノベーション)への一歩として、ぜひ養成塾をご利用ください。

お問い合わせは、農業大学校農業ビジネス人材育成課までお気軽にご連絡ください。



## 卒業生の進路

令和6年度の卒業生は35名で、その内訳は、就農10名、農業法人就農10名、農業関連企業1名、JA等団体・公務員等5名、研修・進学1名、その他(農業外企業等)就職等8名となっています。

### 卒業時点の進路状況

卒業年度		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
農業関連就業	就農	2	5	6	5	4	5	10
	農業法人等就職	5	2	6	6	7	8	10
	小計	7	7	12	11	11	13	20
	研修・進学	1	3	3	8	3	1	1
	JA等団体・公務員等	1	2	3	3	5	4	5
農業関連就職等	2	0	5	4	5	7	1	
合計	11	12	23	26	24	25	27	
その他就職等		2	4	5	8	5	3	8
卒業生数		13	16	28	34	29	28	35
就農率(%)		53.8	43.8	42.9	32.4	37.9	46.4	57.1
農業関連就業率(%)		84.6	75.0	82.1	76.5	82.8	89.3	77.1

## 入校者数等の概要

### 令和7年度入校者

	定員	受験者数	合格者数	合格率	入校者数
養成科二年課程	30名	22名	20名	90.9%	20名
養成科一年課程	10名	8名	8名	100.0%	8名

### 令和6年度入校者

	定員	受験者数	合格者数	合格率	入校者数
養成科二年課程	30名	28名	28名	100.0%	25名
養成科一年課程	10名	12名	11名	91.7%	10名

### 令和5年度入校者

	定員	受験者数	合格者数	合格率	入校者数
養成科二年課程	30名	39名	34名	87.2%	32名
養成科一年課程	10名	10名	6名	60.0%	6名

## 農業大学校同窓会 役員名簿

会長	小竹 行哉(農大四回生・平成元年卒)
副会長	佐藤 晋治(農大五回生・平成二年卒)
監事	野口 伸也(農大五回生・平成二年卒)
監事	中谷 秀也(経大十二回生・昭和五十七年卒)
監事	浦狩 芳行(経大十回生・昭和五十五年卒)
監事	宮田 征典(農大十九回生・平成十六年卒)

# 三重県農業大学校情報！

公式Instagram  
開設！



*Follow  
us!!*

Homepage



農業大学校 P R 動画



日々の実習の様子や、農大マルシェ（水曜販売）に関する情報などをお届けします！